

第 397 回 昭和の森自然観察会

秋の虫と仲良くなろう「バッタ」

奥村 和男（習志野市）

日 時：2025 年 9 月 14 日（日）10：00～12：00 天候：晴れ

参 加 者：26 名（大人 15 名、子ども 11 名）指導員 10 名、管理事務所 1 名

担当指導員：萩、奥村

朝から熱中症アラートが発表されているなか、秋の虫と仲良くなろう「バッタ」という内容で観察会を行いました。

まずはバッタの仲間には、いわゆるバッタ・キリギリス・コオロギがいることを説明。バッタの仲間にもコオロギが含まれていることを知らない方が多く、驚かれていました。次に触覚が角みたいに短いのはバッタ、触覚が体よりも長いとキリギリスの特徴であることを伝え、観察ポイントを説明しました。また、バッタの顔には三角と丸の 2 つのパターンがあることを伝え、少しでもバッタの仲間を観察して、その違いに気付いてもらえるように話をしました。

説明の後はいざ虫取りです。子どもたちは大はしゃぎ。あっという間にいろんな虫を捕まえてきてくれます。ショウリョウバッタの雄を発見した時には、みんなで「キチキチキチ」と鳴きながら飛行する姿を観察できました。音が鳴ることを知らなかった保護者の方が感動していた姿が印象的でした。ショウリョウバッタモドキも捕まえて、足の長さが違うことを確認しました。オンブバッタも捕まえて「オスはどっちだろう？」とみんなで考えました。オンブしている大きい方をオスだと思っている人が多く、なぜメスが大きいのかもみんなで考えてみました。ある子が「卵をたくさん産むため」と言ってくれました。知らないことを想像して柔軟に考えるのは、子どもの方が得意ですね。固定観念って怖いと思います。

最後の振り返りでは、クモの可愛さに気付いた子どもが「家にいる大きなクモも可愛いと思えるかもしれない」と言っていました。また、あるお父さんは「息子の世話を忘れて生き物探しを楽しんじゃいました」とおっしゃっていました。いつもと違う視点で自然と向き合ってみると、知らなかった世界と出会える。参加者の方々に、何か新しい発見があれば幸いです。



お父さんも夢中！？



チョウトンボ捕獲！！



生き物発見！！